

都立上野高校  
進路通信  
羅針盤第9号



令和4年12月14日（水）  
都立上野高校進路指導部  
「自主協調・叡智健康」

## 3年生のみなさん、冬休みから共通テストまでの勉強法

### ①自分と向き合みましょう

これから共通テストまで、1か月あまり。準備は順調に進んでいるでしょうか？11月に受けた駿台・ベネッセマーク模試や河合共通テストプレ模試では、思うような得点がとれず、悔しい思いをした人もいると思います。

大切なことは、その悔しい思いを受け止め、自分と向き合うことです。「間に合わないのではないか」というあせりや「他の人があんなに偏差値が高いのに」という人との比較ではなく、今自分に足りない部分を冷静に把握し、残りの40日でその穴を埋めるために努力をすることです。これからは、自分との勝負であることを忘れないで下さい。

これからの共通テスト対策については、人によって異なります。まだまだ基礎が弱いと思う人や、共通テストの比率が二次試験よりも高い人はすでに共通テスト重視型で学習しているでしょうし、2次試験の配点が高い国公立大学を考えている人や、難関私立大を目指している人は、2学期に取り組んだ演習をより深めて自分のものにする時期なので、共通テスト対策と平行して、個別試験対策を行きましょう。今年の共通テストは、昨年より少し難化する予想です。共通テスト予想問題や過去の試行問題で対策を練ることは有効だと思います。私大の個別試験対策と並行して共通テスト対策をおろそかにせず、攻略するつもりで頑張りましょう。

「昨日の自分をどんどん超えていく！」これがこれからの1か月の目標です。

### ②模試・予想問題・過去問を研究しよう

これから共通テストまでは、冬休みもあり、じっくり落ち着いて学習できる最高の時期です。共通テストが始まると私大の入試、国公立の2次試験・・・と一気に入試本番を迎えます。そのころになると、過去問を分析する余裕がなくなってくるので、今のうちに研究しておきましょう。特に力が伸びてきた人は、力試しとして時間を計ってやってみるのもいいと思います（結果はあまり気にしないこと、本番で合格点以上をとればいいのです）。また出題傾向をよく分析して、自分の弱点を知り、今後何に重点を置いた勉強をすべきかを研究する必要もあります。

### ③伸び悩んだら基礎へ戻れ

思ったほど伸びなくて悩んでいる人は基礎がきちんとできていない可能性がかなり高いです。受験問題の半分以上は基本ができていれば解けるものなので、基本をていねいに学習し、暗記するところはしっかり頭に入れる勉強が必要です。「文法をもう一度確認する」「例文をおぼえる」「公式をきちんと理解し、頭に入れる」「教科書レベルの事件や人物や大まかな年号をおぼえる」「単語数を増やす」「典型的な例題や類題の解法パターンを理解し、頭にたたき込む」などです。

入試のハイレベルの問題で混乱した場合は、基本問題をやり直すことで、頭の中が整理され、応用問題も解けるようになっていきます。自分ができない問題にぶつかったときは、必ず基本まで戻ること、実力は伸びていきます。「急がば回れ」は正しい格言です。

### ④現役は冬に伸びる！

模試で思ったほど成果が上がらなかつたり、過去問がうまく解けなかつたりで、今が一番つらい時期かもしれません。しかしつらいのは一人だけではありません。

卒業生が言っているように、「現役は冬に伸びます」。これから冬休みにかけてがんばり、共通テストで1つの成果を出してほしいと思います。そうすれば、私大入試や二次試験までにグンと伸びる可能性も大きいです。

### ⑤朝型の生活に切り替えよう

体が朝型に慣れるまで2～3週間はかかるので、昼間に勉強に集中し、夜は夜更かししないで、しっかり体を休ませる生活にシフトしていきましょう。当然共通テストまでの学校生活は休まず遅れず、学校をフル活用することで、リズムができてきます。上高の自習室や図書室も大いに路用して下さい。

### これからの注意点

（これから冬が本番を迎えます。勉強は睡眠は削らず集中力で勝負しましょう。教室の換気、こまめな手洗いやアルコール消毒、うがい、マスクの着用など風邪を引かないのも受験生の大事な義務です。今年もコロナ対策のため、周りの人もマスクを着用してくれています。風邪やインフルエンザにかからない生活=コロナにかからない生活です。

☆共通テスト終了後は、登校日以外は自宅学習期間ですが、それでも学校の自習室や教科の先生を利用してください。家で孤独に勉強したりスランプになるよりも、学校に来て勉強するのがいいかもしれません。先生に相談したり友達に励まされて、大きく伸びる先輩がたくさんいます。上高はみなさんのベースキャンプみたいなものです。何かあったらいつでも来てください。



## 大学生チューターからの75期生へのメッセージ

### E・Sさん 東京学芸大学教育学部

「悩んだり困ったことがあったら、遠慮せずに周りの先生方に相談するようにしよう。友達と学年みんなで受験と頑張る姿勢を持ちましょう！」

### S・K君 青山学院大学国際政治経済学部

「私大は3科目極める意識が大事です。共テ英国世界史はほぼ満点でした。」

### E・Mさん お茶の水女子大学大学文教育学部

「睡眠をとることで集中を高めました。謙虚に日々努力する事が大事です。」

### K・H君 慶應義塾大学大学文学部

「現状の足りない部分を整理し、着実に淡々とノルマをこなしましょう。」

#### 【国語全般】

○本文を読む時に、大まかな内容を暗記することを心がける。

○一度目を通してイマイチ理解や把握が出来なかった時は、時間を多少かけてもいいから読み直す。

○基本的には、本文と選択肢の文での間違い探し。今の時期はひたすら問題をこなすしかない。

○複数の文章・資料がでますが、必ずリンクさせて読みましょう。見た目の量の多さに圧倒されるな！

#### 【評論文】

○難しい語句や言い回しが頻出なので、国語の単語帳も利用価値大ありです。過去問や問題集で出会った語彙はすべて自分のものに吸収しよう！英語や日本史・世界史も同じ。

○たくさん問題をこなして、内容をある程度記憶しておけば、試験当日にテーマがかぶることが期待できて有利です。

#### 【小説】

○正直な話、どれだけ勉強しても多少の「運」要素は残ります（特に私大）。ですので過去問を解きまくって解説を読み込み、大学や試験ごとの「問題のクセ」を見つけましょう。

○一番勉強しがいのある科目です。

#### 【古文・漢文】

○余裕ある人は、近代文学（江戸～明治くらい）や漢詩まで手をつけましょう。役に立つ時が必ず1回はあります。漢詩では、種類はなにか、押韻を見つけ、対句を意識。

○基本的な古典単語や文法がわかれば、大体の問題は解けます。精度を高めていってください。基本三本柱（単語・文法・文学史を含む古文常識）が重要。

○1つでも多くの単語と句法をインプットしましょう。

【英語】

○語彙と文法を極める。これに尽きます。今の時期から単語帳を新しく買うのはやめましょう。今まで使っていたものをページの端から端まで読んで暗記し尽くすことができるようになります。単語は短文の中での使われ方まで目を向けましょう。

○国語と同じく、本文を読みながら、ある程度暗記するとやりやすいですが、自分の短期記憶を過信してしまわないように、気をつけてください。

○リスニングは、「聴く」と「解く」の同時処理を目指して頑張ってください。かなり難しいですが、訓練しましょう。脳内で翻訳に頼りすぎてもよくないです。できるだけ、「英語脳」に仕上げから試験に臨んでください。

【世界史・日本史】

○一問一答などを友達で口に出しながら出題し合ってください。私大の問題では、しばしば高難度の設問がありますが、既知の知識をつなぎ合わせるとひらめくことがあるので、あきらめてはいけません。ただし時間を取られすぎないように。

○先史時代や文化史や戦後史も甘く見る人がいますが、意外に出てくるのできちんと対策すること。共通テストは傾向をつかむために過去問・予想問題を取り組みましょう。

【みなさんへの激励メッセージ】

「元気な時なら強いというのは当然のこと。万全な状態の時に出来ないことはない。しかし戦いが始まれば、『万全な状態』など秒単位で遠ざかっていく。だから学ぶべき重要なことは、ベストコンディションの維持よりも、バッドコンディションとの付き合い方だ。」試験開始の数十分前まで伸びます。どうかしつこいくらいに粘り強く頑張ってください。

## G. Nさん 都立大学健康福祉学部

「苦手の国語を攻略して、得点源に変えたのは大きな自信になりました。今年の共通テストは実用文が要注意です。共テの試行問題は必ず解きましょう。」

## S. R君 中央大学理工学部

「わかった気になる勉強はだめ。理系は本質を理解しましょう。」

## S. R君 電気通信大学情報理工学部

「模試の結果は気にせず、出来ない問題の直しを必ずやりましょう。」

【共通テスト国語】

### 1 対策案

① 文章を読み始める前に、問題文を読む。

→私が受験勉強していた時に、英語でも心がけていたことです。特に、予想問題の様に多くの図の情報を問われる時には問題を読む直前に図の情報を頭に入れれば、図を読む回数を減らし、時間を節約することが出来ます。問題で問われていることが、文章中のどこを見れば分かるのかを理解してその都度文章を読む解き方がお勧めです。（全文読まない分からない問題もありますが）そうすれば、②のような問題でも整理しながら読むことが出来、混乱しづらくなると思います。

② 漢詩、和歌などのルールや修辞法を覚えておく。（枕詞や掛詞、押韻等）

→漢詩の問題も予想問題では出題されているので要注意です。私も苦手な問題でしたが、ルールを覚えれば得点源になると信じて根気強く覚えました。本番の国語直前は、これらのルールがまとめてある単語帳をひたすら確認していました。

③ 問題文を正確に読む習慣を付ける。

☆過去問や予想問題を解く時は、4分くらい短めに時間を設定する！

→共通テストは時間がかかる気がします。過去問や予想問題を解く時には、どんな緊張感

を持って本番よりも緊張しません。本番よりも短めに時間を設定して、少しあせる状況で過去問を解くと、本番であせっても、その状況に慣れているので、「今やっている問題を置いて、次の問題に進むべきか」等の判断を即座にすることが出来ると思います。私も国語のセンター試験本番は残り10分で、とてもあせりましたが、どの問題を優先すべきかの判断が出来ていたので、それまでで一番の高得点がとれたのだと思います。

【共通テスト物理】

〔力学〕運動量保存、運動方程式、エネルギー保存などの式を見つけることが大事。

〔波動〕ドップラーは覚えれば満点。見たことがない状況設定が共通テストではあるが、混乱せず使える公式を当てはめていこう。

〔電磁気〕キルヒホッフが回路を解く上で重要、使いこなそう。Jの計算は要注意。スカラー量やベクトル量が大事。

〔熱力〕基本暗記。グラフが持つ特徴を知っていれば、問題を早く解ける。

〔原子〕おそらく今年も出題される。重要問題集レベルを解けたらほぼ解ける。暗記量が多いが、12回しっかりやれば覚えらる。

〔全体〕力学・電磁気は重点的に！波動と熱力学・原子は忘れない程度に触れましょう。

## 共通テスト大予測！～2022 旺文社『蛍雪時代』12月号より

【国語（現代文）で図やグラフなどの資料や実用文が出題される】

図やグラフなどの資料や実用文を用いた問題を出題してくるのではないかと推測できるので、過去の試行問題や予想問題を解くなど対応を考えよう。

【数ⅠAの問題形式】

日常生活での数学を題材とした会話文やグラフ表示の問題で、問題文も長くなると予想。これまでマーク式ではなじまないとされてきた証明問題も出題される可能性あり。

【英語リーディング】

2023年も伝言メモやイベントの告知文のような平易な文章から、ある人物の伝記や新聞記事まで様々な種類の英文が出題されるだろう。特に第4問の図表・広告問題を過去問・予想問題などで重点的に練習しよう。

【全般】

今年度の共通テストは、全教科とも試行調査の問題に近付けてくる可能性があるため、共通テストの赤本を使い、試行調査の問題を解いたり、予想問題に取り組んで、対策を立てていくことが共通テスト攻略のポイントです。進路企画『SINRO 7号』より抜粋

## 私立大学出願の7か条！

1) 追加合格が出やすい前期試験で本命校+同じような学部・学科を持っている併願校を選んで受験

2) 共通テスト利用方式も保険として出願

3) 国公立型の多教科受験した人は、共通テスト4教科以上の入試を実施している中堅私大に出願

4) 本命校が後期試験を実施している場合は粘り強くチャレンジ！その際、2月19日（日）の週が締め切りのところが多いので、前期試験の出来が不安だったら、早めに出願

5) 第一志望校は変えなくてもいいが、確実に1校は合格が取れる出願をする

6) 現役生は共通テスト・私大受験・2次試験と試験を重ねるごとに経験値を上げられる。最後まであきらめずに軌道修正しながら勉強を継続する。

7) 第一志望校に合格できないのが失敗ではない。最後までベストを尽くせなかったことが失敗

